



行役所 場
新式 株式 会社
印刷 株式 会社
東洋 印刷 株式 会社
北洋 印刷 株式 会社

八・二八水害

水とのたたかひの記録

八月二十八日
朝から降り続いた雨は、だんだん激しくものすごい豪雨となる。稲刈を目前にして河川の増水が心配される。

午後零時三十分
とりあえず各消防分団長に、部落の河川の状態を調査の上報告するように依頼する。その間雨はなお降り続く。

午後二時
各分団長からの情報が集まる。さし当り緊急事態の箇所はなし。農業会館で開かれた一日県庁は雨をついてかなりの聴集が集り、成功のうちに終る。

午後五時
県の対策本部より、「大雨警報」が発令される。ただちに消防正副団長の来庁を求め、消防長以下前後策について協議する。

日暮と共に村内の河川は刻々とその水量を増して来た。

午後七時
新川鐵橋堤防、新木山川初め各所で危険な状態となり、現場では消防団員初め、部落民で土のうを

積み嚴重な警戒体制に入る。消防各分団は全村にわたって待機指令がなされる。

午後八時三十分
土管根より新木山川越水すれすれとの情報あり。続いて卯八郎より空襲をとの要請あり、一〇〇俵を新川の現場へ急送する。

午後九時
卯八郎からの連絡により、待機中の五之上、島方、横戸の団員約六十名が雨をついてそれぞれ現場へ出勤する。

午後九時三十分
情報第1号を有線放送で流す。現在新川が増水中で危険ヶ所続出し、現在島方、五之上初め地元団員により水防作業中、他の分団は引き続き待機して下さい。

午後十時四十五分
急事態の報告が入る。続々緊急事態の報告が入る。午後十時四十五分
情報第2号
現在の大雨は夜半まで続き、河川はなお増水する見込み。村内の危険ヶ所は一応土のうを積み防いで

ているが、引き続き警戒中、各消防団は現在の体勢で待機下さい。雨はちょっと小やみとなり、卯八郎、国見、大倉根などから小康を保っているとの情報が入る。このまま雨がやんでくれればと神仏に祈る気持なり。

午後十一時三十分
県の本部より大雨洪水注意報。低気圧が停滞し、まだ大雨が降り続き、今後の雨量はところによって一〇〇ミリを越えよう。

午後十二時三十分
連絡より動員要請。三分分団二十名が現場へ急行する。

八月二十九日 午前二時
情報3号を流す。テレビは加治川の兩岸が相次いで決壊し、昨午大被害を受けたところが、又も泥水につかかると云う。まったく言葉もなし。

午前四時
雨はまたまた激しくなる。風をともしなつたもののさし嵐で、現場で作業する人達は本が大変だろ。新川沿岸から続々要請あり。旧木山排水機場へ五之上、番屋卯八郎地内へ島方の各団員六十名が出勤する。

雨が激しくなると共に各警戒ヶ所が増水し、役場中の電話は休みなしに鳴り渡る。情報第4号を流す。

井随では五ヶ江の越水激しく、五十米にわたって、土のうを積み直すとの連絡を受ける。嵐の中で遂に一睡の間もなく夜明を迎えた。

自動車で村内の現場を廻る。豊作の稲穂が一夜の嵐で無残に水につかり、農道は白い一本の道のようになり輝いている。

東小学校が一面の水の中に浮かんでいる。自動車ではとても近かづけない。

あの暗い雨の中で、よくもこれだけの土のうを積み上げられたものだ、と思わず頭が下る。

どの現場でもまだ嚴重な警戒が続く。夕方五時、味方村、月湯村より電話あり、中之口川の堤防が危険の状態だ動員要請。皆んな疲れていのにに申訳ないと思いがら、島方、三方、五之上の団員三十名から味方村へ急行してもら

幸いにして中之口川は午後八時頃から減水を初め、派遣隊は九時頃無事に帰村する。

本部は、手も足も出なかつたことでしょう。三十日午後四時四十五分、県災害対策本部からの要請を受けて、三十一日新発田西名柄地区へ五十名、今朝また向中条地区へ五十名の消防団員が、それぞれ応援に出動いたしました。

二十八日午後から初まった水とのたたかひは、本部としても精一杯の努力はしたつもりです。しかししよせん机の上のたたかひであり、現場で迫り来る泥水と対し、必死の思いで土のうを積まれた皆さんからすれば、御不満の多かつたことと存じます。

力及ばなかつた点につきましては深くお詫し、今回の災害に示された村民の皆さんの献身的御努力に、深いかい敬意と感謝を申し上げます。

「災害は忘れた頃にやってくる」やがて来る台風シーズンを迎えて、いつまたこのような事態が起きるか知れません。そんな日のために少しでも役立てば、と記録しました。

選挙人名簿縦覧について

選挙人名簿の縦覧についてお知らせ致します。選挙資格のある方で九月一日までに申し出た人の名簿を皆様方にお見せする事になっております。

縦覧期日 九月十一日から九月二十日まで

毎日午前八時三十分から午後五時まで

縦覧の場所 湯東村役場

品 種	全 村				四ッ合地区				大 原 地 区				摘 要
	昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	
◎初音もち	209	0.1	2,750	1.6	55	0.1	1,759	1.0	154	0.3	991	1.6	
◎初祝もち	4,800	2.8	1,923	1.1	2,909	2.7	1,131	0.9	1,891	3.2	792	1.3	
◎こがねもち	1,780	1.1	1,628	0.9	764	0.7	660	0.6	1,016	1.7	968	1.5	
中交もち	9,701	5.7	10,630	6.1	8,462	7.8	9,576	8.4	1,239	2.1	1,054	1.7	
平和もち	18	—	—	—	18	—	—	—	—	—	—	—	
大正もち	18	—	—	—	18	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	93	—	—	—	93	—	—	—	—	—	
もち計	16,526	9.7	17,024	9.7	12,226	11.3	13,219	11.5	4,300	7.3	3,805	6.1	
合 計	168,788	100	176,599	100	109,079	100	115,211	100	59,709	100	61,388	100	

第2表 奨励品種の普及状況

区 分	全 村				四ッ合地区				大 原 地 区			
	昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率
奨励品種	121,649	72.1	121,422	68.8	69,649	63.9	70,894	61.5	51,809	86.8	50,528	82.3
以外の品種	47,139	27.9	55,177	31.2	39,430	36.1	44,317	38.5	7,900	13.2	10,860	17.7
計	168,788	100.0	176,599	100.0	109,079	100.0	115,211	100.0	59,709	100.0	61,388	100.0

第3表 熟期別作付状況

区 分	全 村				四ッ合地区				大 原 地 区			
	昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率
早 生	127,713	75.7	139,557	79.0	83,775	76.8	91,853	79.7	43,938	73.6	47,704	77.7
中 生	27,945	16.5	30,008	17.0	15,929	14.6	17,996	15.6	12,016	20.1	12,012	19.5
晩 生	13,130	7.8	7,034	4.0	9,375	8.6	5,362	4.7	3,755	6.3	1,672	2.8
計	168,788	100.0	176,599	100.0	109,079	100.0	115,211	100.0	59,709	100.0	61,388	100.0

昭和42年度村税

区分	延滞金がついている税		これから納期のくる税			
	1 期	2 期	3 期	4 期	納期	備考
村・県民税	6月30日限り	8月31日限り	10月31日限り	1月31日限り	12月31日限り	翌月1日までに納付し、納期前納金に納めると納期前納金に減額される。
固定資産税	4月30日限り	7月31日限り	12月25日限り	2月28日限り	5月31日限り	翌月1日までに納付し、納期前納金に納めると納期前納金に減額される。
保険税	6月30日限り	7月31日限り	10月31日限り	1月31日限り	4月30日限り	翌月1日までに納付し、納期前納金に納めると納期前納金に減額される。
軽自動車税	全 期 4月30日限り		年途中で車を購入した場合は、ナンバーをつけるときに納税してください。			

税金は期限内に
自主納税しましょう

税金課

今年度の村税も八月末日でそれぞれ第一期分までの納期が過ぎました。納税者の約七四％にあたる八五七世帯の方は既に第一期分の納期前までに納税済みです。また各納期前までに各字の嘱託員(惣代)を通して納税も増えておりますが、納期前までに納入がなされず督促状が発行されて延滞金や督促手数料等の余計な負担をしなければならぬ方があります。納期内に必ず嘱託員(惣代)へ忘れずに完納してください。

九月は村税、国保税納税強調月間です。滞納は一日も早く完納しよう。納期前納金の完納で有利な納税。

昭和42年産米
水稲品種別作付状況とまる

経済土木課

今年度より展開された米100万トン達成運動(本村は600キロ達成運動として展開)の「豊かな土づくり」「多収な稲作り」「よい米作り」「能率の高い稲作り」を目標とし、その対策の一環として「多収でよい米」の優良品種普及統一、種子更新率の向上を図ってきましたが、このほど本年産米の品種別作付面積がまとまりましたのでお知らせします。(一部関係者には8月17日お知らせ済)、本年の作付面積は次のとおりで資料につきましては先に皆さん方全農家より申告していただいた作付状況申告書に基づき食糧事務所湯東出張所の協力でまとめたものであります。

がめだちます。
第2表の奨励品種の普及状況をみると、昨年の72.1%から68.8%と低下をしておる点等、他市町村と同じ傾向にあります。又旧四ッ合地区と旧大原地区では約20%の差がある事も稲作りポイントとしてみのがせません。

第3表の熟期別にみると早生種が79.0%、中生種が17.0%晩生種が4.0%と年々早生種が増加しております。

以上おおまかな状況を記しましたが、皆さん方農家個々に充分検討の上、米600キロ達成運動に一層の御尽力をお願いします。

品種別には、農家の方々の増産意欲が直接に結びつくということで非常に数多くの品種が取り入れられており東北系品種の比率も高まっております。奨励品種では越路早生、越ひびき、越栄、千秋楽が減少し、日本海、ホウネンワセ、八千穂がやや増加しており、非奨励品種ではフジミノリなどの増加

尚、皆さんの申込された43年用の種子穀は現在県指定の大曾根甲種子場において優良種子の生産が行なわれており、11月末頃には皆さんの手元にお届け出来るかと思えます。

また44年作付用の種子申込は11月末頃受付予定ですので今から作付計画を樹立しておきましょう。

第1表 品種別作付面積の状況

品 種	全 村				四ッ谷地区				大 原 地 区				摘 要
	昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		昭和41年度		昭和42年度		
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	
◎八千穂	1,811	1.1	7,420	4.2	684	0.6	4,273	3.7	1,127	1.9	3,147	5.3	◎奨励品種
◎ホウネンワセ	3,093	1.1	4,090	2.3	1,176	1.1	1,816	1.5	1,917	3.2	2,274	3.7	42年度
◎越路早生	42,825	25.4	33,124	18.7	23,977	22.0	18,791	16.4	18,848	31.5	14,333	23.3	特殊生産含む
◎日本海	38,810	23.0	43,498	24.6	25,077	23.0	27,463	23.9	13,738	23.0	6,035	26.2	
フジミノリ	14,088	8.3	19,235	10.9	12,083	11.1	14,860	12.9	2,005	3.4	4,375	7.2	
ハツニシキ	1,100	0.7	551	0.3	211	0.2	254	0.2	889	1.5	297	0.5	
十和田早生	3,189	1.8	3,033	1.7	1,657	1.5	1,473	1.3	1,532	2.6	1,560	2.6	
藤坂5号	3,397	2.0	2,431	1.3	2,872	2.6	2,145	1.8	525	0.9	286	0.4	
ギンマサリ	—	—	1,211	0.6	—	—	938	0.8	—	—	273	0.4	
シロガネ	1,879	1.1	766	0.5	1,429	1.3	766	0.6	450	0.8	—	—	
ヤマミノリ	—	—	2,557	1.5	—	—	1,975	1.8	—	—	582	0.9	
オオトリ	—	—	945	0.6	—	—	540	0.4	—	—	405	0.6	
明星	—	—	2,082	1.2	—	—	1,332	1.1	—	—	750	1.3	
サウニシキ	—	—	783	0.5	—	—	783	0.7	—	—	—	—	
チワミノリ	—	—	248	0.1	—	—	248	0.2	—	—	—	—	
サワミノリ	—	—	301	0.1	—	—	301	0.3	—	—	—	—	
テドリワセ	—	—	250	0.1	—	—	250	0.2	484	—	—	—	
なるほき	—	—	356	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5
◎越ひびき	13,828	8.2	11,635	6.5	7,080	6.5	6,606	5.7	6,748	11.3	5,029	8.2	
◎コシヒカリ	5,326	3.2	5,333	3.1	2,453	2.2	2,385	2.0	2,893	4.8	2,948	4.8	
◎越みのり	574	0.4	5,436	3.1	1,49	0.1	3,078	2.9	445	0.7	2,058	3.3	
◎越栄	4,686	2.8	1,764	0.9	3,092	2.8	969	0.8	1,594	6.4	795	1.4	
山ひびき	1,822	1.1	3,084	1.8	1,744	1.6	2,963	2.5	78	0.1	121	0.2	
◎越かおり	505	0.3	710	0.5	305	0.3	542	0.5	200	0.3	168	0.3	
◎千秋楽	3,382	2.0	2,111	1.2	1,965	1.8	1,121	0.9	1,417	2.4	990	1.6	
北陸52号	4,444	2.6	2,815	1.6	3,900	3.6	2,329	2.3	544	0.9	486	0.7	
北陸66号	—	—	1,270	0.8	—	—	1,270	1.2	—	—	—	—	
その他	7,483	4.4	2,536	1.4	6,999	6.4	2,221	1.9	484	8.8	315	0.5	
うるち計	152,262	90.13	159,575	90.396	85.3	88.7	101,992	88.5	55,409	91.5	57,583	93.9	

「災害と税金」

台風、集中豪雨により、毎年全国各地で台風、集中豪雨によって被害を受けて財産に被害をうけた場合税金面では、次のような救済措置があります。

- 一、雑損控除による方法は
災害や、盗難または横領によって、住宅や家財現金などの資産にその年分の合計所得金額の割合をこえる損害をうけたときにそのこえる額を合計所得金額から控除する方法です。
- 二、災害減免法による方法は
災害で住宅や家財の価額の二分一以上にのぼる損害をうけたとしてもその年分の合計所得金額が二百万円以下の場合には全部または一部が減額ができます。

雑損控除や災害減免法による救済措置は翌年三月の確定申告の時期をまっすその適用をうけることができますが、七月や十一月の予定納税額のある人はその予定納税の段階でも適用をうけることができます。

巻 税 務 署

不幸にしてこのような被害をうけられた場合は、お忘れなく税務署への手続きをしてくださいます。なお詳細は税務署または市町村役場へ問合せください。

国民健康保険のしくみ

(国民健康保険調月間によせて)
今日国民健康保険は地域の多くの人から利用され気味にお医者にかかり地域保険として充分に役割を果しておりま。

国民の加入者は職場の健康保険等に加わっていない住民が強制的に加入することになってま。四十二年三月末日の加入者は五八六三人で全住民の八三、九%が加入してま。国民の事業として被保険者への給付は医療費(医療費)、助産費(出産の場合)葬費(死亡の場合)育児手当金(出産児を育てた場合)などがあり、医療給付は四十分

日本脳炎について

今月日本脳炎について皆でもう一度考えて見ま。となく身近かに病気が発生しないとい「ピン」とこないのですが発病してからではおそいのです。この日本脳炎は一度かかったら大変な病気です。十人患者が出たとすると三人は死亡し、三人は精神や運動障害などの後遺症が残り、

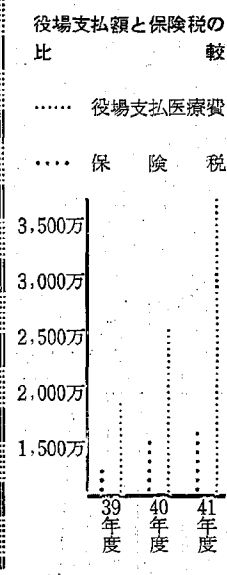
完全におなる人は僅かに三人しかおりま。こんなに医学が進歩した現在でも非常に死亡率が高いのです。日本の伝染病では最もおそろしい病気の一つです。このおそろしい病気の日本脳炎は三年周期に当っており多発のきざしが濃く、新潟県下は警戒地域に指定されてお。これから十月い

一年一月から全加入者について七割給付が実施されてお。国民健康保険の大部分が医療機関に国民健康保険が支払う治療費でありま。四十一年度では支払額が三六二〇六千円で一人当りにま。三六二〇六千円で年間四、三回医者にかかることになりま。

医療費一万円に対する支払の内容

円	7,000	円	3,200
円	10,000	円	3,800
円		円	3,000
円		円	

医療費
役場支払い
被保険者支



の支払が困難になるわけです。そのため医療費が多くなれば保険税も医療費につれて高くなつて行きます。又収納率の良いか悪いにかよつても医者への支払に影響してきます。国民健康保険の一層の発展のため被保険者の協力を御願いたします。

ばいごろまでが最も危険な時期といわれてお。しかも其の病原菌は非常に小さく、一微の一、〇〇〇分の三〇でいどで肉眼にはとらうて見ること出来ず、地球上にねずみ位のものです。殊に水田地帯に多く、比較的水のきれいな所にすむ「コガタアカイユカ」という蚊の媒介によるもので、千人に一人の割合に発病するものなのです。運悪く其の千人の中の一人に当たらないとは誰れも保障はしてくれま。自ら身を守る為にも次の事には殊に気を付けま。

- 一、症状について
●高い熱が出て頭痛、吐気のある時
- 意識がなくなり、勝手に手足を動かす
- 長く眠つて瞳孔の反射がなくなる
- ヒキツケやケイレンをおこす
- 以上のいずれかが出て来たなら迷わず医師の診察を受ける事
- 二、特効薬はない
- 日本脳炎のウイルス(病原菌)にきく薬はなく対症療法しかない。

たばこは

村内で

買いましよう

三、予防法について

- 第一にまず予防注射を完全に行ない度い。早い人で二、三週間普通一ヶ月位で効果が出て来ます。これで八〇%の人は免疫を得るわけです。一年後には免疫三〇%に落ちるから追加注射をしておけば良いわけです。この九月がピークですから、早目に予防注射はやっておいた方が良いでしょう。料金が高くて又、自分文は大丈夫という気持ちからでは、病気が防げま。第二に蚊にさされな、注意をする。カヤをつるとか、アミ戸をつけるのも一つの手ですね
- 第三に、身体に抵抗力をつけておくこと。
- 最近子供よりむしろ年配者に多くなつてお。これは、
○予防注射をする人が少ない。
○体力は子供より衰えてお。
○過労や睡眠不足をさけ、カンカン照りの下で長い事いのも疲れを増す事です。子供達も夢中に遊び過ぎない様。
- 以上書きました様に、自分の手で日本脳炎は防げうる点も多い事をよく知らま。

(保健婦 小黒)